

だいじょうぶ？

メディアの独立、私たちの表現の自由

【なぜ、国連特別報告者が日本に来たのか】

講演会

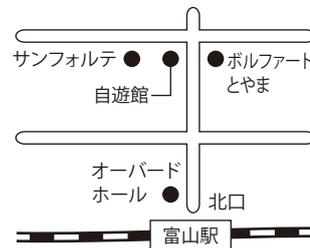
藤田早苗さん

英国エセックス大学人権センターフェロー

2016.7.3 [日]
10:00~12:00

サンフォルテ307

富山市湊入船町6-7、富山駅北口より徒歩10分



■一般 1,000円 ■大学生 500円 ■高校生以下・障がい者の介助者無料
旅費カンパ協力券あります。ぜひご購入を。当日参加券にもなります。

【主催・問い合わせ】秘密法廃止市民ネットとやま
<https://www.facebook.com/considersecrecylaw>
Tel.090-8704-5004(土井)

日本の「表現の自由」国連特別報告者が調査!

国連人権理事会に任命されたデビッド・ケイ特別報告者(米カリフォルニア大アーバイン校教授、国際人権法)が、日本の「表現の自由」の現状を調査するため今年4月に日本政府の招きで来日。当初、昨年12月の予定だった訪日は日本政府の要請で延期になっていた。特定秘密保護法、政府のメディアへの圧力とメディアの萎縮、ヘイトスピーチ、慰安婦問題や教科書検定などに触れ、メディアの独立性や国民の知る権利のために対策を講じるよう政府に求めて帰国。

藤田さんからメッセージ

4月の調査で国連が日本に何を求めたのか、海外メディアは日本の問題をどう報じているのか、などをお話して日本の外からの視点をご紹介します。また、きちんと真実を伝えないマスコミの問題について、視聴者がメディアを「批判的に見る」大切さをお話したいです。表現の自由への脅威が民主主義にどのような影響を与えるのか、一緒に考えましょう。

The Indie Times



富山のみなさん
はじめまして!

ふじた さなえ
藤田早苗

英国エセックス大学
人権センターフェロー

【プロフィール】

名古屋大学大学院国際開発研究科を修了。エセックス大学にて国際人権法修士号、法学博士号取得。専門は国際人権法。近年は、国連の「表現の自由に関する特別報告者」の日本への派遣に尽力。特別報告者による訪日調査が4月に終わり、日本の現状について多くの人に知ってもらおうと日本語と英語で発信。一時帰国のたびに、全国各地で講演活動を続けている。英国在住。